

オーディションセリフ課題 男性（紺野のセリフを言ってください）

紺野 僕は昔から何をやってもダメで、大学入試も志望校受かるのに2年もかかっちゃった上に、就活でも浪人しちゃって。でも、どうしてもこの会社に入りたかったんですよね。

緑川 どうして？

紺野 もともと雑誌とか情報誌が好きで、そっち関係の仕事がしたいって思いがあったんです。本とか雑誌ってワクワクするでしょ？ページめくる度に、次はどんな世界が広がってるんだらうって。

緑川 わかる！

紺野 だよね！欲しかった情報はもちろん、知らなかったことと出会う喜びは最高だ。お気に入りのアイテムとか、おしゃれなお店とで会ったときは「よーっし！」みたいな。

緑川 そうそう！

紺野 だから僕も雑誌出版社で働きたくて、頑張って頑張ってようやく掴んだのが、この「そこそこ編集部」なんです。社内じゃ地下室だなんて言われてるみたいですけど。

緑川 それは…。

紺野 入社式の日、新入社員代表で挨拶していましたよね。その時から緑川さんは僕の憧れです。入社してすぐ「Simple.B」の担当になった、正に天上界の人。そんな人といつか一緒に働くことができたらいいなと思って頑張ってきました。こんな形で一緒に働けることを望んでいたわけではないですけど。緑川さんは覚えてないと思いますが、実は入社式の日、一言だけ交わしたんですよ。

緑川 え、ほんと？

紺野 入社式終わって会場横のトイレから出てきたところで、バツタリ緑川さんに会って、思わず「さっきの挨拶とってもよかったです！」って声をかけちゃったら、「一緒に頑張らしましょうね。」って。

緑川 …ごめんなさい、覚えてないです。

紺野 いいんです、いいんです。っていうかちよっとキモいですよね。

緑川 そんなことないです。

紺野 （軽く会釈して）その時の一言が、僕のモチベーションになってることは確かです。だから今度は僕が緑川さんの力になりたいんです。一緒に頑張らしましょう。